

## 住宅履歴保管

# きた住まいる サポートシステム

住宅を良好な資産として長期的に維持管理していくために、設計や施工など家づくりに関する住宅履歴情報を保管し、その情報は将来のリフォームや住み替えをするときに活用することができます。

### 例えば...

手狭になったから  
2階を増築したいけど  
耐震性が不安

将来、住宅を売る時に  
性能の良さを  
アピールしたい

こんな時に**住宅履歴情報**が役に立ちます。



センター  
マスコットキャラクター  
ハウリー

北海道建築指導センターは**北海道**から**保管機関の指定**を受け、**住まいの維持管理**や**リフォーム**を**履歴情報の長期保管**で支援します。

保管手数料(令和5年1月現在)

(消費税10%込)

保管区分	保管期間	1件あたりの手数料の額
新規住宅履歴保管料 (新築住宅・既存住宅)	30年	27,500円 (審査併願あり* 25,300円)
住宅履歴延長保管料	10年	11,000円
	20年	16,500円

※建築確認審査、適合証明(フラット35)などをセンターで審査した場合、割引料金が適用となります。

きた住まいるサポートシステムサイト <https://support.kita-smile.jp/>



……………【新築住宅・既存住宅問わず保管可能】……………

## きた住まいるサポートシステムによる保管の5つのメリット

- ① 最初の保管期間は30年の長期保管で、さらに延長保管できる
- ② 長期優良住宅の住宅情報記録に対応
- ③ **住宅ラベリングシート**で、住宅性能や特長が一目でわかる
- ④ 保管された情報はいつでも閲覧でき、将来のリフォームや住み替えをする際に活用できる
- ⑤ 第三者機関((一財)北海道建築指導センター)に保管されるから安心

◆北海道建築指導センターは、北海道から、住宅履歴情報の保管機関として指定を受け、お預りします。

## 住宅ラベリングシートにより、 住宅性能の「見える化」で安心※

住宅ラベリングシート



我が家の基本性能や特長を、住宅ラベリングシートにより確認できます。



住宅ラベリングシートの一部は、きた住まいるメンバーの実績として Web で閲覧することができます。住宅事業者選びの参考にできます。

自分が建てた家の性能が客観的に見れたり、きた住まいるメンバーがどんな家づくりをしているのかわかるんだね



※2017年以前に住宅履歴情報を保管した住宅の一部は、該当しません。

## 住宅履歴の保管で、 リフォームや住み替えに活用

きた住まいるサポートシステムにより、設計や施工など家づくりに関する住宅履歴情報が保管されます。保管された情報はいつでも閲覧することができ、将来のリフォームや住み替えをする際に活用することができます。

家づくりの履歴が残るから、リフォームや住み替えの時も便利で安心

